



アシスタント側：電話機での Cisco Unified CallManager Assistant の使用方法

Cisco Unified IP Phone の Cisco Unified Manager Assistant の一部の機能に直接アクセスできます。呼出音の選択を除いて、これらの機能は Assistant Console でも使用できます。

次のトピックを参照してください。

- [電話機での Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーの使用方法 \(P.4-2\)](#)
- [呼出音のカスタマイズ方法 \(P.4-3\)](#)
- [電話機からインターコム機能を使用する方法 \(P.4-5\)](#)

電話機での Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーの使用方法

電話機の Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーにアクセスするには、Assistant Console にログインしている必要があります。Assistant Console へのログインの詳細については、P.2-3 の「Assistant Console へのログイン方法」を参照してください。電話機の Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーについては、表 4-1 を参照してください。

表 4-1 アシスタントの電話機の Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキー

ソフトキー	機能説明
即転送	呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを、マネージャまたは別のプリセットされている番号にただちに転送します。
VM 転送	呼び出し中または接続済みのコールを該当するマネージャのボイス メールに送信します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.2-3\)](#)
- [呼出音のカスタマイズ方法 \(P.4-3\)](#)
- [電話機からインターコム機能を使用する方法 \(P.4-5\)](#)

呼出音のカスタマイズ方法

呼出音の選択機能を使用して、電話回線ごとに固有の可聴リングタイプを関連付けられます。自分の着信コールとマネージャの着信コールをすばやく聞き分けるため、マネージャのプロキシ回線に固有のリングタイプを関連付けられます。

次の手順を使用して、直接電話機で呼出音をカスタマイズします。

手順

ステップ 1 Cisco Unified IP Phone の **[設定]** ボタンを押します。

ステップ 2 **セレクト** ボタンを使用して [設定] メニューの **[呼出音タイプ]** を選択します (または電話機のキーパッドで **2** を押します)。

電話機にある各回線とその回線に選択したリングタイプが、電話機の LCD スクリーンに表示されます。最初は、これらすべての回線でデフォルトのリングタイプが使用されています。

ステップ 3 回線のリングタイプを変更するには、**セレクト** ボタンを使用して回線を選択し、**[選択]** ソフトキーを押します。



(注) 電話機で、特定のマネージャに関連付けられているマネージャのプロキシ回線を識別するには、Assistant Console の **[マイコール]** パネルを確認します。この領域には、マネージャのプロキシ回線とマネージャの名前が表示されます (マネージャのプロキシ回線とは、そのマネージャへの着信コールをアシスタントが受信する回線です)。

ステップ 4 **セレクト** ボタンを使用して、選択した回線に使用できるリングタイプのリストをスクロールします。リングタイプのサンプルを聞くには、リングタイプを選択して **[再生]** ソフトキーを押します。

ステップ 5 新しいリングタイプを関連付けるには、**[選択]** ソフトキーおよび **OK** ソフトキーを押します。

■ 呼出音のカスタマイズ方法

ステップ6 手順3～5を繰り返して、選択したほかの回線についてリングタイプをカスタマイズします。

ステップ7 [終了] ソフトキーを押して [呼出音タイプ] メニューを終了します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.2-3\)](#)
- [電話機での Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーの使用法 \(P.4-2\)](#)
- [電話機からインターコム機能を使用する方法 \(P.4-5\)](#)

電話機からインターコム機能を使用する方法

インターコム機能は、システム管理者が設定する場合があるオプション機能です。この機能を使用すると、インターコム回線でマネージャと会話ができます。電話機または Assistant Console にインターコム短縮ダイヤルがない場合は、システム管理者に問い合わせてください。



注意

ユーザ オプション Web ページでインターコム短縮ダイヤル設定を変更している場合は、インターコム コールを発信することができません。

インターコム コールを発信するには、該当するマネージャに対応した Cisco Unified IP Phone の **インターコム短縮ダイヤル** ボタンを押します。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャがほかのコールに出ている場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャがほかのコールに出ている場合は、インターコム コールがマネージャの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、ほかのコールに出ているアシスタントにマネージャがインターコム コールを発信する場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.2-3\)](#)
- [電話機での Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーの使用法 \(P.4-2\)](#)
- [呼出音のカスタマイズ方法 \(P.4-3\)](#)

■ 電話機からインターコム機能を使用する方法